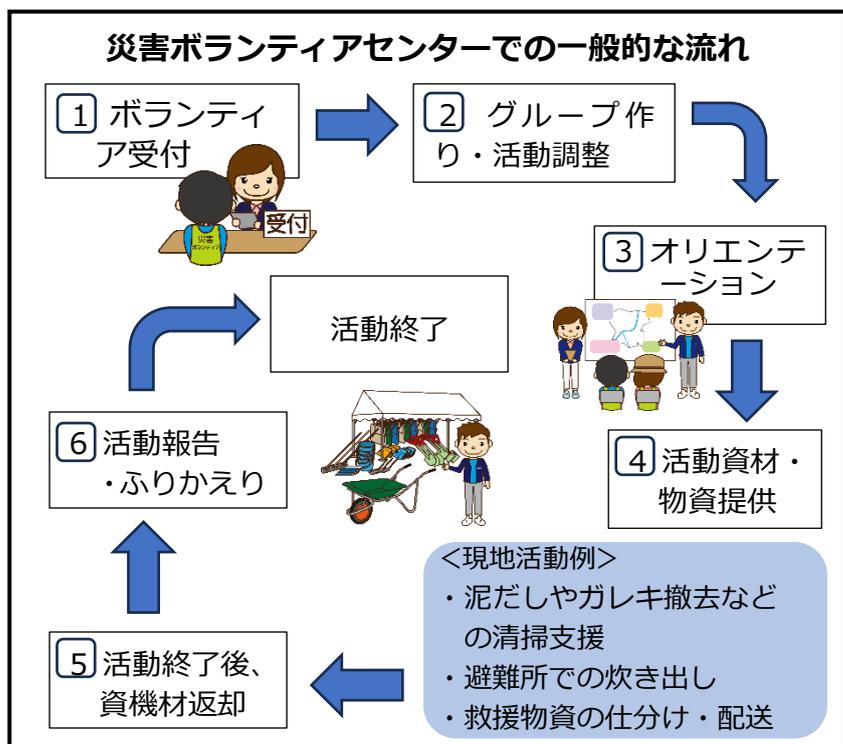


大阪市社会福祉協議会

社会福祉協議会は全国の社協のネットワークを活かしながら、災害支援活動に取り組みます。

被災地支援活動

災害ボランティアセンターって？



災害ボランティアセンターとは、地震や台風などの大規模な自然災害が発生すると、一般的に社会福祉協議会と行政とで協議をして立ちあげます。被災者・被災地を主体としながら、ボランティアの協力を得て、地域の復興につなげていくことを目的とした、災害時に設置されるセンターであり、被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。被災者のニーズ（必要としていることや困りごと）とボランティアをつなぐ機能を担います。

被災地で災害ボランティア活動に参加 ～和歌山県海南市～（令和5年6月）



▲当日は朝から100人以上のボランティアが集まり、実際の災害ボランティアセンターの現場や活動に行くまでの流れを見ることができました



▲泥出しやがれき撤去などの作業をおこないました。被災者の方との関わりをとおして、被災者の想いに寄り添って活動することが大切だと感じました

そもそも、社会福祉協議会（社協）ってなに？

社会福祉協議会は、「地域でのボランティア活動」や「福祉に関する相談」などを通して、

地域での支え合い・つながりづくりをすすめる民間団体（社会福祉法人）です。

- ・法律（社会福祉法）に位置づけられており、市区町村ごとに組織されています。
- ・大阪市内では「大阪市社会福祉協議会」と、より身近な区ごとに設置された24の「区社会福祉協議会」があります。
- ・専門的な知識をもった職員が、住民一人ひとりの暮らしを支える相談業務や、地域での支え合い活動のサポートを担っています。



▲区社会福祉協議会の拠点「区在宅サービスセンター」



▲地域で取り組まれる福祉活動を支援

いざという時に備えて

大阪市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会は地元が被災した時は、被災者支援に力を注ぎます。

台風7号への対応



令和5年8月15日の台風7号の際、災害対策本部を立ちあげるまでには至りませんでした。市内全体の被害状況や台風に関する情報を収集・共有し、対応について協議・検討しました。(左写真) また、災害時に備え、毎年、災害訓練や研修会等にも取り組んでいます。

多様な団体との連携をすすめています



災害時に備えて、平時からライオンズクラブや北御堂など多様な団体と連携しています。大阪市内で大規模な災害が発生した時に備え、令和5年8月8日に北御堂と「災害時における施設利用に関する協定」(資器材の備蓄・ストックヤードの設置場所や災害支援拠点の設置場所の提供など)を締結しました。

各区社協でも災害時の備えをすすめています

<天王寺区>



◀コロナ禍でも災害時に備え、地域住民と一緒に感染症対策を検討しながら訓練を継続して開催

<東住吉区>



◀社協・商店会・介護事業所で連携して防災イベントを開催し、気軽に楽しく学べるよう実施

社協って、普段はどんなことをしている団体？

地域を支える

さまざまな団体が取り組む、居場所づくりや見守り活動などに出向き、活動上の悩みの相談に乗ったり、課題の解決に向けた新たな活動をサポートします。また、ボランティアをしたい人と、ボランティアをお願いしたい人をつなぐ役割も担います。

ひとりを支える

窓口や電話、地域に出向いて、困りごとを抱える人の相談を受けつけ、住民や関係機関と連携しながら、その人らしい暮らしに向けて支援します。高齢者の相談、生活や家計に困っている人の相談、どこに相談してよいかわからない、という相談も含めて、まずは受け止めます。

